

令和 5 年度

5 児 工 第 3 号

旧 ひ か り 保 育 園 解 体 撤 去 工 事

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-0 1	特記仕様書（そのⅠ）	A-1 7	各部詳細図-1	A-3 3	木製建具リスト	E-0 1	幹線動力設備図	M-0 1	配置図
A-0 2	特記仕様書（そのⅡ）	A-1 8	各部詳細図-2	A-3 4	金属製建具リスト	E-0 2	電灯設備図	M-0 2	平面図-1
A-0 3	参考メーカー表	A-1 9	各部詳細図-3	A-3 5	厨房詳細図	E-0 3	照明器具姿図	M-0 3	平面詳細図
A-0 4	案内図	A-2 0	各部詳細図-4	A-3 6	リフト詳細図	E-0 4	コンセント設備図	M-0 4	給食室詳細図、器具表
A-0 5	配置図	A-2 1	平面詳細図-1	A-3 7	物置図	E-0 5	コンセント設備図、換気扇姿図	M-0 5	浄化槽詳細図
A-0 6	面積表	A-2 2	平面詳細図-2	A-3 8	仮設計画図 1	E-0 6	弱電設備配置図	M-0 6	平面図-2
A-0 7	仕上表-1	A-2 3	平面詳細図-3	A-3 9	仮設計画図 2	E-0 7	火災報知器系統図、凡例	M-0 7	厨房換気平面詳細図、オイルタンク詳細図
A-0 8	仕上表-2	A-2 4	平面詳細図-4			E-0 8	火災報知器設備図		
A-0 9	平面図	A-2 5	展開図-1	S-0 1	基礎伏図	E-0 9	エアコン設備図		
A-1 0	立面図	A-2 6	展開図-2	S-0 2	2 階床梁伏図				
A-1 1	断面図	A-2 7	展開図-3	S-0 3	R 階床梁伏図				
A-1 2	天井伏図	A-2 8	展開図-4	S-0 4	軸組図				
A-1 3	矩計図-1	A-2 9	展開図-5	S-0 5	基礎リスト、基礎梁リスト				
A-1 4	矩計図-2	A-3 0	家具・建具キープラン、法規チェック	S-0 6	大梁リスト、小梁リスト、柱リスト				
A-1 5	階段詳細図	A-3 1	家具詳細図-1	S-0 7	スラブリスト、壁リスト 共通事項、雑配筋詳細図				
A-1 6	屋外階段詳細図	A-3 2	家具詳細図-2	S-0 8	架構配筋詳細図				

有限会社サクライ設計

旧ひかり保育園

解体工事設計図

魚沼市教育委員会事務局子ども課

令和 5 年 1 0 月（全 5 7 枚）

建物概要

工 事 場 所	魚沼市宇津野618		
敷 地 面 積	3,600.0 m ²		
用 途	保育園		
構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート造 2 階建		
建 築 面 積	398.31m ² (うち解体 398.31m ²)	延 べ 面 積	710.89m ² (うち解体 710.89m ²)
区 域 区 分	区域区分未設定都市計画区域	用 途 地 域	
防 火 地 域	指定なし		
そ の 他 の 区 域	騒音規制法による規制 ※あり（第 号区域） 振動規制法による規制 ※あり（第 号区域） 砂防指定地内 ・あり 地すべり防止区域 ・あり		

※建物の棟別の詳細は、設計図を参照。

施工条件

項 目	適 用 ・ 条 件 等
① 作 業 時 間 等	※指定あり ・指定なし (ありの場合の条件) ・騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯（特定建設作業に限る。） ・夜間作業 ※行わない
② 駐 車 場 そ の 他	工事用車両の駐車場所 ・場内（任意） ・資機材の置場所 ・場内（任意）
3 着 手 前 対 応	※工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。（発注者同席予定） (説明会予定時期 ・令和 年 月頃 ・実施時期未定) ※建築物除却届 ※必要（施工者作成とする。）
4 そ の 他 施 工 条 件	(↓ は参考記載のため、各工事条件に併せて記述を変える。) ・本施設の場内では、車両通行に制限があるため、場内の規則にしたがって通行すること。通行にあたり、施設管理者と協議が必要。 ・本工事範囲は基礎解体までとし、杭の撤去は行わない。（詳細は図示。） ・工事時期と同時に、備品等の撤去作業を別途予定している。 解体工事にあたり、備品撤去作業の受注者と十分な調整を行うこと。

仕 様 書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」(以下「標仕」という。)による。

2. 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1)「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第78条関係) 魚沼市財務規則 建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。)に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する解体共仕の項目について、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.1.2 用語の定義の(7)、(9)、(10)
(2) 1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.7.1 工事検査の(2)及び(3)

4. 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(1)
1章 1.7.2 技術検査

別 表（建築工事）

号	項 目	置 き 換 え 後 の 解 体 共 仕 の 規 定
	1 章 各章共通事項 1 節 共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条の規定に基づき受注者に通知された者をいう。 (9)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。

(1) 1.1.2 用語の定義

(2) 1.7.1 工事検査

(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。

(3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。

2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3. 特記事項に記載の() 内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
特記事項に記載の(標仕) 内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。

4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また () 内は製品名を示す。

章 項 目	特 記 事 項												
1 ① 工 事 実 績 情 報 の 登 録	※請負工事費 500万円以上の場合は登録する。(1.1.4)												
② 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監 2 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける管理技術者の配置は認めない。												
3 工事の記録等	契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。(1.2.4)												
4 電気保安技術者	※要() (1.3.3)												
⑤ 解体工事における監督者の要件	※1 建設業法施行規則第7条の3に基づく資格を有するもの。 1 解体工事施工技士 2 解体工事の実務経験が1年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。												
⑥ 施 工 条 件	※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。(1.3.5)												
7 交通安全管理（出入りの管理）	(1.3.7) ※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。 ※工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。												
(巡 視)	※交通安全巡視員等により工事現場内及びその周辺の安全巡視を敢行し、事故防止設備の完備及びその維持管理に努めなければならない。												
8 周辺構造物対策	※工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。												
⑨ 公 共 設 備 等 へ の 対 策	※工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。 公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法を決定しておかなければならない。												
⑩ 発 生 材 の 処 理	※構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要する発生材 ・ P C B 含有物 ・ 金属類 ・ 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの (1.3.10)												
11 石綿含有建材の事前調査	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。(1.4.1) 調査範囲 ・ 図示 ・ 貸与資料 分析による石綿含有の調査 ・ 行う(下表による) ・ 行わない <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> 上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法											
・	・ 箇所	・ 箇所											
・	・ 箇所	・ 箇所											
・	・ 箇所	・ 箇所											
12 施 工 数 量 調 査	調査範囲 ・ 図示 ・ 調査方法 (1.5.2)												

1 一般共通事項

13 完 成 図 等

14 施工図等の取扱

⑮ 工 事 完 成 写 真

⑯ 工事施工状況写真

2 仮設工事

① 騒音・粉じん等対策

② 足 場 そ の 他

③ 総合仮設計画

4 監督員用事務所等

⑤ 工 事 用 水

⑥ 工 事 用 電 力

⑦ 仮 設 建 物 等

3 解体施工

1 事前措置

② 機器等の解体

3 基礎及び杭

4 さく、照明設備等の付属物

5 構内舗装等

6 地下埋設物及び埋設配管

※下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。
・案内図及び配置図
・残置物等の配置図
※竣工図（A1 部 A3 部）
・ C A D データ
・ 下記図面を C A D データ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。
案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面

施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。 提出部数 1 部
-工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、-外部全景-4面、-内部主要各室、-屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。

工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック(平成30年度版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。
ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略出来る。
提出部数 1 部
印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。

※防音パネル ○防音シート ・養生シート (2.2.1)
防音パネルの設置範囲と高さ
設置範囲：
高 さ：

(2.2.2)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同「ガイドライン」の別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

※現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。

・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ m 程度を設ける。(2.3.1)
・仮設事務所の中に監督員用空間を m 程度確保する。
・監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。

・保護帽 ケ ・雨具 着 ・長靴 足 ・安全帯 組

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

(3.2.1)
※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。
※オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。

(3.4.1)
※工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。
設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。

(3.9.2)
杭の撤去 ※行う ・残置
残置または一部撤去の場合の処理
※杭種、杭径、位置、杭頂部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。

解体方法 ※引抜き ・破砕 ・杭頭はつり(m まで)
引き抜いた杭の処理 ・

杭撤去跡の処理 ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク ・

杭の種類
・ 通心力鉄筋コンクリートくい
・ 高強度プレストレスコンクリートくい
・ 場所打ちコンクリートくい
・ 木くい
・ R C パイル

建物名等	杭径	長さ	本数	備 考

付属物の解体 ・ 行わない ・ 行う(・ 図示) (3.10.1)

樹木等の伐採・伐根 ・ 行わない ・ 行う(・ 図示) (3.11.1)
支障となる樹木の移植 ・ 行わない ・ 行う(・ 図示)

(3.12.1)
撤去する地下埋設物、埋設配管
・あり(・ 図示 ・) ・ なし

3 解体施工

⑦ 解体後の整地

8 火気使用作業等

① 再資源化等

2 処理に注意を要する建設廃棄物

⑤ 廃石綿等

② P C B 含有機器類

3 P C B 含有シーリング材

4 廃油

5 廃酸・廃アルカリ

6 ダイオキシン類

① 共通

② 石綿粉じん濃度測定

埋戻し及び盛土 ○A種 ※B種 ・C種 ・D種 (標仕3.2.3)(標仕表3.2.1)
・
発生土の処理
・ 構内指示の場所 (・ 敷均し ・ 堆積) (標仕3.2.5)
・ 構外搬出適切処理(指定場所：
)
・ 処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする

※解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生の危険性がある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。

※解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生の危険性がある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。

中間処理、再資源化施設 ※「追加特記6 建設廃棄物の処理」による。(4.4.1)
再資源化する建設廃棄物
※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※金属類
※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品
※資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品
・ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物
・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス

指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(焼却) ※不可 ・ 可
再資源化して現場で利用する建設廃棄物
・

処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)
・ セっこうボード(石綿含有)
・ セっこうボード(ひ素・カドミウム含有)
・ セっこうボード(上記以外)
・ C A 処理木材(クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材)

処理の方法
・ 解体共仕第4章5節による。
施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。

(5.4.1(1))
※6 石綿含有建材の除去及び処理による。

(5.4.1(2))
調査方法 ※製造所、製造年、型式等による調査
・ 専門分析機関による微量 P C B 分析調査

調査対象 ・
上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。

(5.4.1(3))
事前調査等 ・ 行う(下記の要領で分析する) ・ 行わない
現場においてサプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所 ※外壁目地 ・ 建具周囲目地 ・ 図示
採取箇所数 ・ 部材が異なる毎に1箇所 ・ 図示
分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。
調査範囲 ※工事範囲全て ・ 図示
調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事監理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

(5.4.1(4))
処理方法 ・ 焼却処分 ・ 中間処理施設による再生処理

(5.4.1(5))
処理方法 ・ 中和処理 ・ 焼却処分
・ 中間処理施設による再生処理

(5.4.1(6))
サンプリング調査 ・ 行う ・ 行わない

材 料 名	調査箇所	測定方法

焼却施設の解体及び処分方法 ・
ダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第 433号)その他関係法令に従い、適切に処理すること。

※建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。
・ 建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(令和2年9月8日付け 技術上の指公示第22号)
・ 新石綿技術指针对応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設業労働災害防止協会)
・ 建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月(厚生労働省、環境省))

石綿粉じん濃度測定 ○行う ・ 行わない [6.1.3]
測定時期、場所及び測定点

適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各処理作業ごと)
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点
・ 測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点
・ 測定 4		出入口	・ () 点
・ 測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ 出口吹出し風量 1m/s以下の位置各1点 ・ () 点
・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点
・ 測定 7	処理作業後	処理作業室内	・ () 点
・ 測定 8 (隔離シート撤去前)		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点

仕様書(その I)

Ver. 050401

設計者等氏名

五十嵐 正充

設計者等氏名

五十嵐 正充

建築士登録番号等

一級建築士 第129518号

工事名称

5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事

年月

2 0 2 3 . 1 0

図面番号

A - 0 1

図面名称

特記仕様書（その I）

縮 尺


電 機 構 機

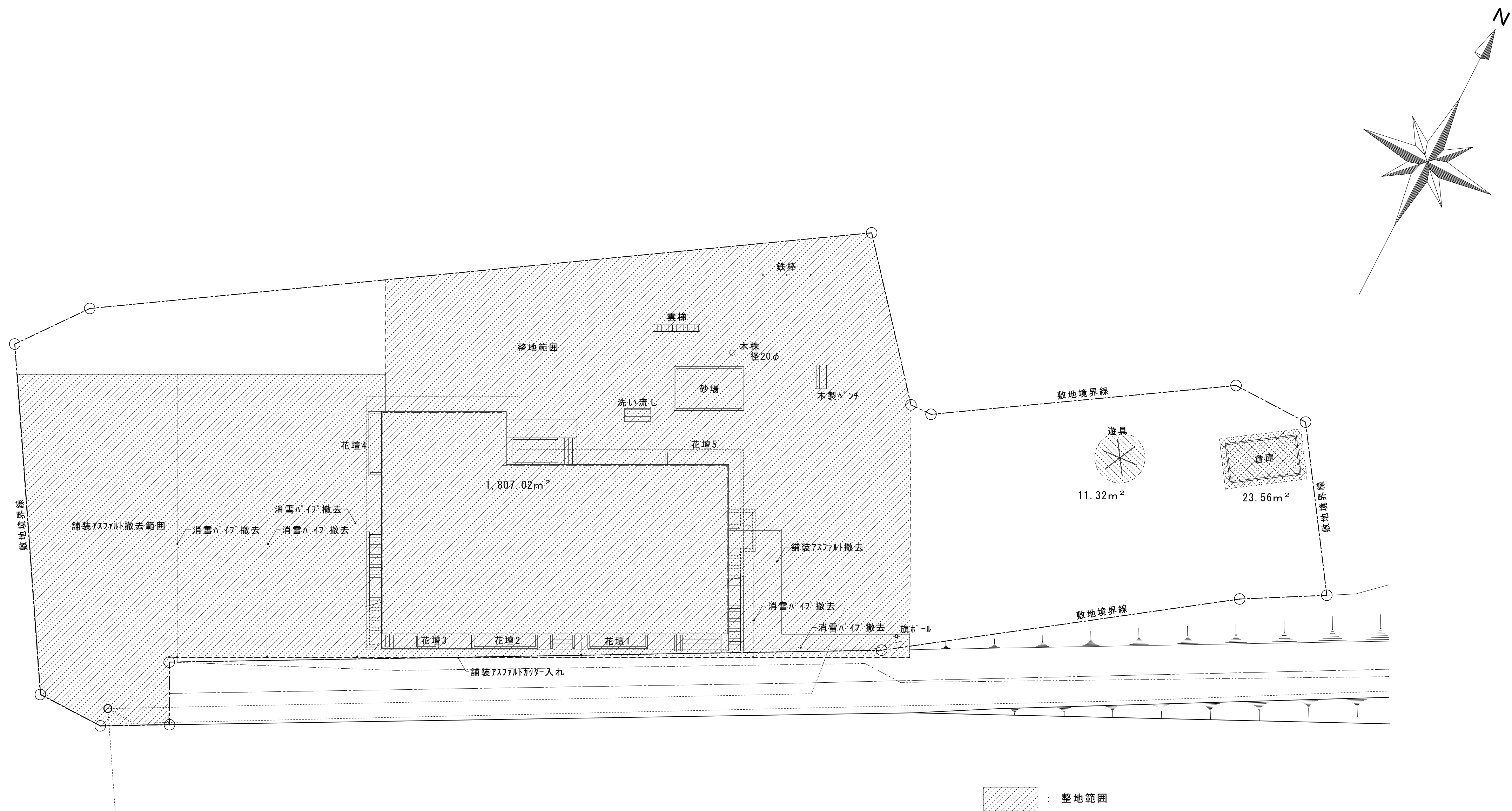
有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計

新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 (小 出 東 町)
一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守 人



工事場所：魚沼市宇津野618

備考			<div><div></div><div>有限会社 サクライ 設計</div><div>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</div><div>一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990</div><div>一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人</div></div>	設計者等氏名 五十嵐 正充	建築士登録番号等 一級建築士 第129518号	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年月 2023. 10	図面番号 A-04
						図面名称 案内図	縮尺	意電機構






備考			有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 五十嵐 正充	建築士登録番号等 一級建築士 第129518号	印	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年月 2023.10	図面番号 A-05
							図面名称 配置図	縮尺	電機 構機

工 事 概 要										床 面 積 表								
項 目		内 容				項 目		内 容				申 請 部 分			申請以外の部分	合 計		
工 事 名 称		湯之谷村立ひかり保育所建設工事				建 物 概 要												
工 事 場 所		北魚沼郡 湯之谷村 大字津野字沖ノ原1618				用 途		保 育 園										
工 事 種 別		(新築)増築(別棟) 改築 用途変更 大規模の(修繕・模様替)				階 数		地下 地上 2 塔屋				1	階	329.23			329.23	
用 途 地 域		住専(第 種) 住居 近隣商業 商業 準工業 工業(区域区分未設定都市計画区域)都市計画区域外				構 造		木造 鉄骨造 (RC造) SRC造 PC造				2	階	367.10			367.10	
防 火 地 域		防火 準防火 (法第22条地域指定なし)				耐 火 区 分		(耐火建築物) 簡易耐火建築物 耐火構造 防火構造 その他				3	階					
その他の地域等						高 さ		最高の軒の高さ 7.85 m				4	階					
敷 地 面 積		3600㎡				便 所		(水洗) (浄化槽) 下水道放流 汲取				5	階					
建 築 面 積		申 請	384.35	申請外	0	合 計	384.35	建 築 設 備		(電気設備) (給排水衛生ガス設備) (冷暖房設備) (昇降機)		6	階					
延 面 積		申 請	696.33	申請外	0	合 計	696.33											
建 蔽 率		70 %																
容 積 率		400 %																
除 却 工 事																		
別 途 工 事																		

[illegible]

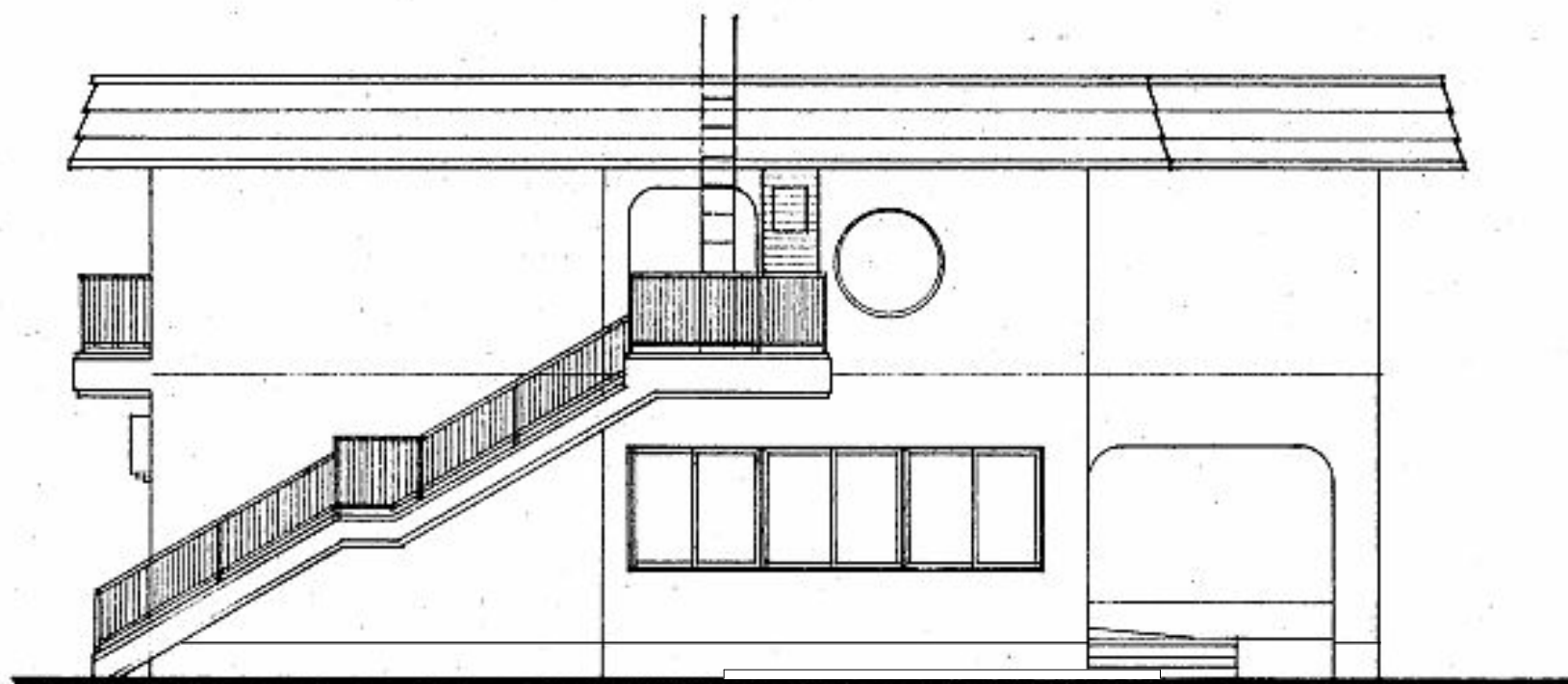
階	室名	T	床	塗装	H	巾	木	T	壁	塗装	T	柱	型	塗装	T	梁	型	塗装	T	天井	塗装	C・H	畳	床	壁	床	備考
	廊下		ビニル床下地 塩化ビニル 100面貼						コンクリート打設 タイル系接着剤貼付 一部タイル貼り			コンクリート打設 タイル系接着剤貼付								0.9	軽天井 塩化ビニル 100面貼						
	玄関ホール		ビニル床下地 塩化ビニル 100面貼		16	塩化ビニル		5.5	木目調紙下地 有孔ワニ合板目ナラン張	VP張		木目調紙下地 有孔ワニ合板目ナラン張							4.0	軽天井 石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,750					玄関上1階
	応接室	2.6	長尺塩ビシート貼 塩化ビニル 100面貼					12	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	居間	12	塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					16	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	キッチン		塩化ビニル床下地 塗装済並列密木床材					4	木目調紙下地 石膏ボード張		4	木目調紙下地 石膏ボード張							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	洗面室		塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					4	木目調紙下地 石膏ボード張		4	木目調紙下地 石膏ボード張							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	トイレ							12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	脱衣所	2.6	長尺塩ビシート貼 塩化ビニル 100面貼		16	塩化ビニル		12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	浴室	2.6	長尺塩ビシート貼 塩化ビニル 100面貼		16	塩化ビニル		12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	洗濯室		塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					4	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		4	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	食卓	2.0	塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					4.0	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		4.0	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	ロッカー室		塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					12	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼		12	木目調紙下地 石膏ボード張 ビニルクロス貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	休憩室	2.6	長尺塩ビシート貼 塩化ビニル 100面貼		16	塩化ビニル		16	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		16	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,400					玄関上1階
	物置	2.0	塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					4.0	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼		4.0	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	ローカ	2.0	塩化ビニル床下地 床用合板T1張 タタミ敷					5.5	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼	VP張	5.5	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼	VP張						4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	ビロテイ入口		塩化ビニル床下地 長尺塩ビシート貼					4	木目調紙下地 石膏ボード張		4	木目調紙下地 石膏ボード張							4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階
	ビロテイ		塩化ビニル床下地 長尺塩ビシート貼					5.5	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼	VP張	5.5	木目調紙下地 石膏ボード張 アスファルト接着剤貼	VP張						4.0	石膏ボード張 ビニルクロス貼		2,550					玄関上1階

[illegible]

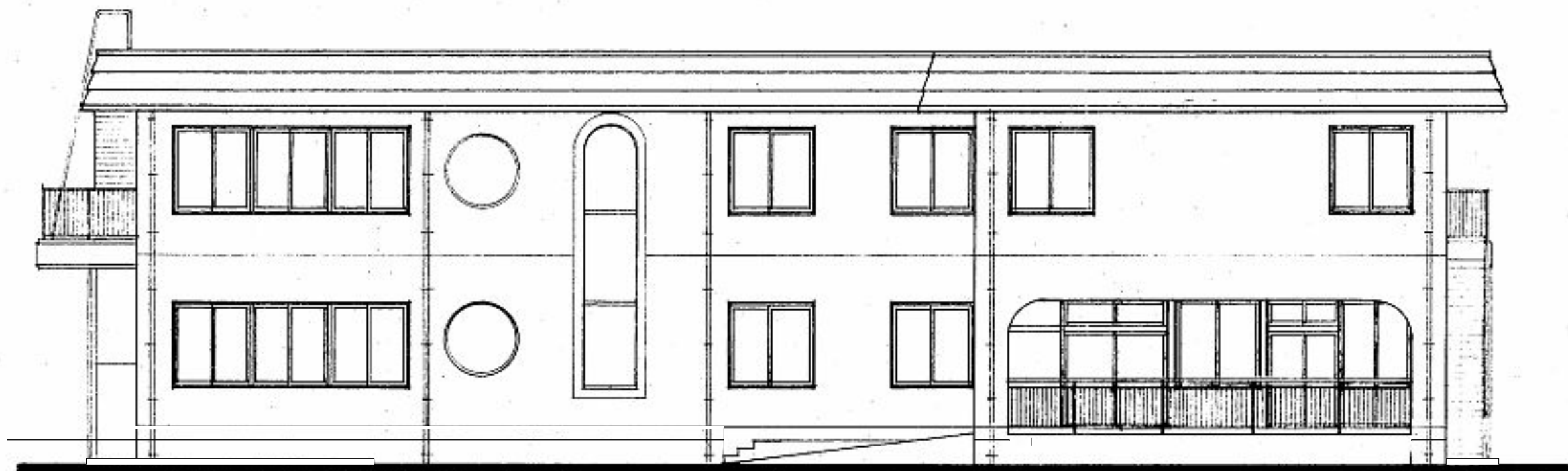
備考		 有 限 会 社 サ ク ラ イ デ ィ ン グ 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録（特）第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守 人	 設計者等氏名 五十嵐 正充	建築士登録番号等 一級建築士 第129518号	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年 月 2023. 10	図面番号 A-08
					図面名称 仕上表-2	路 尺	 電 機



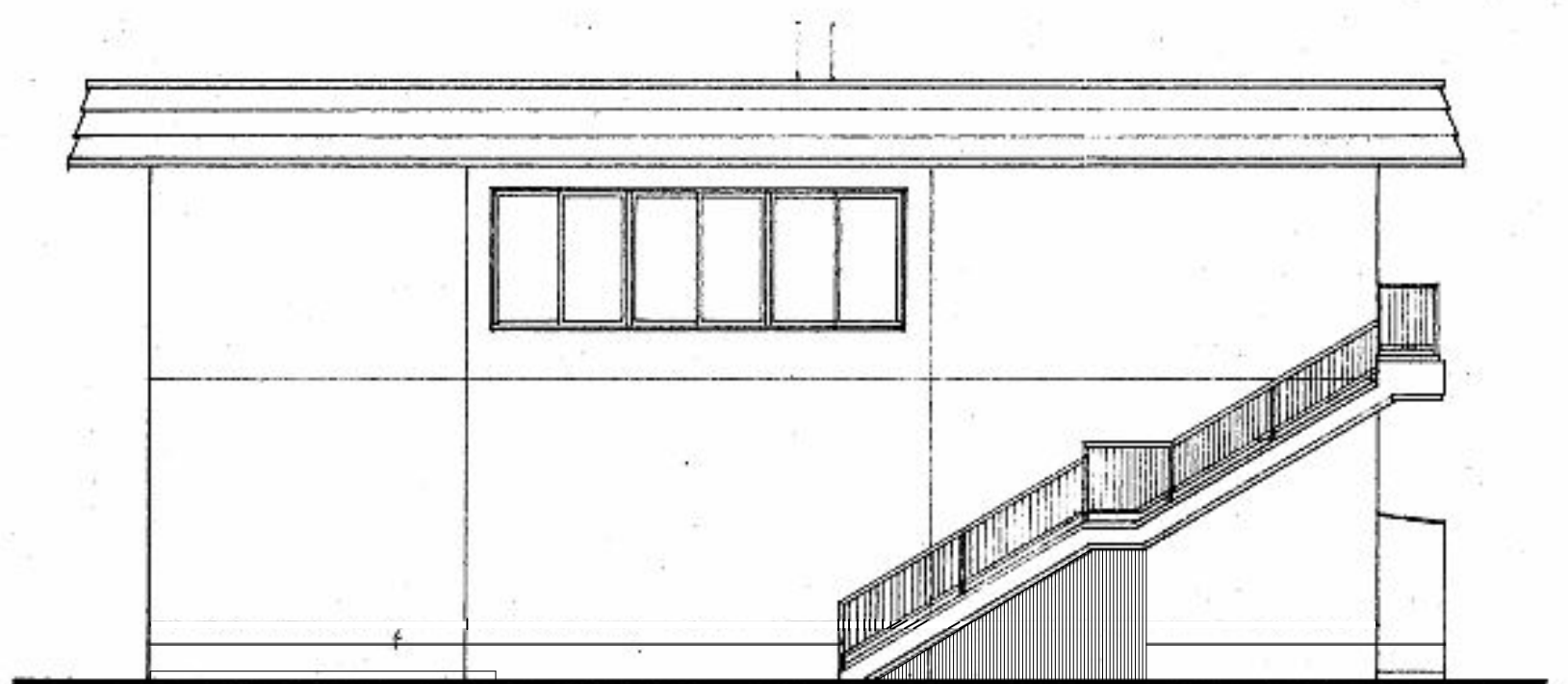
正面



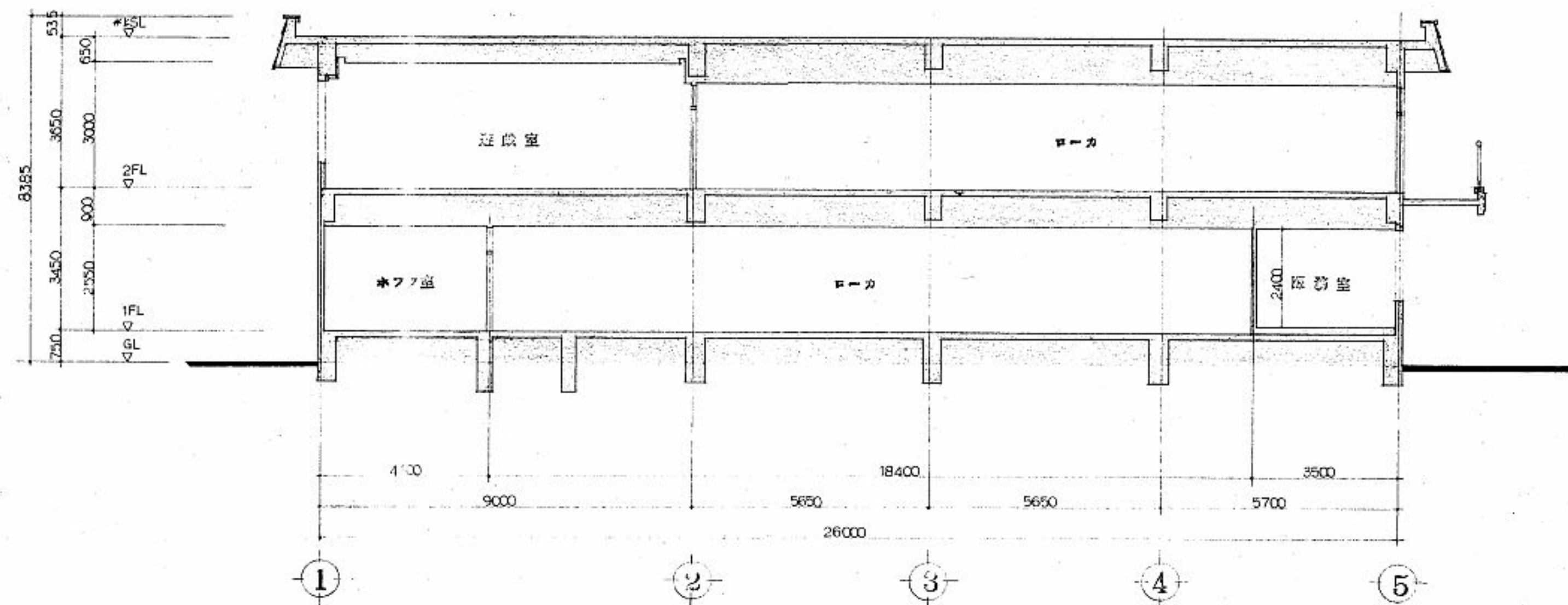
右側



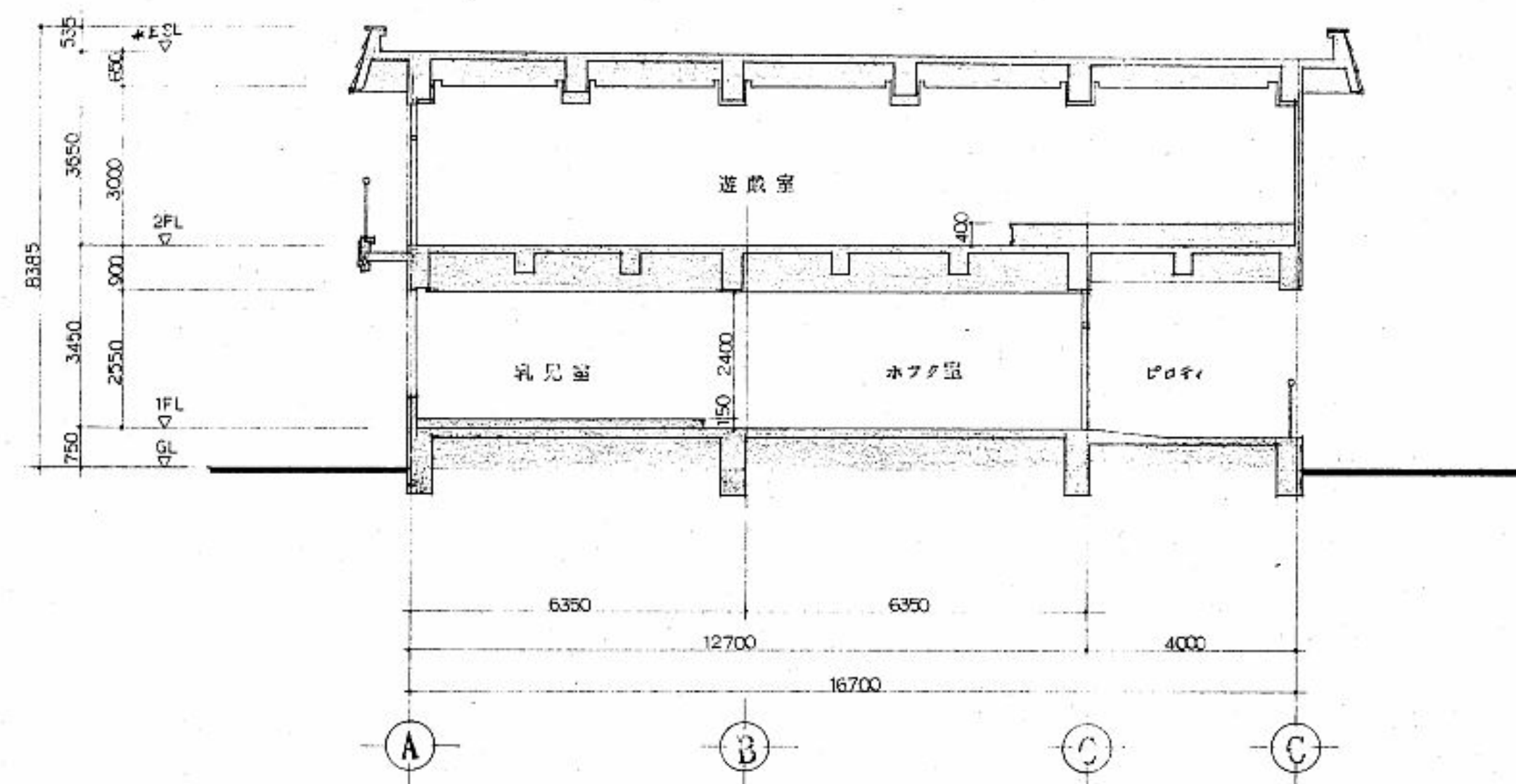
背面



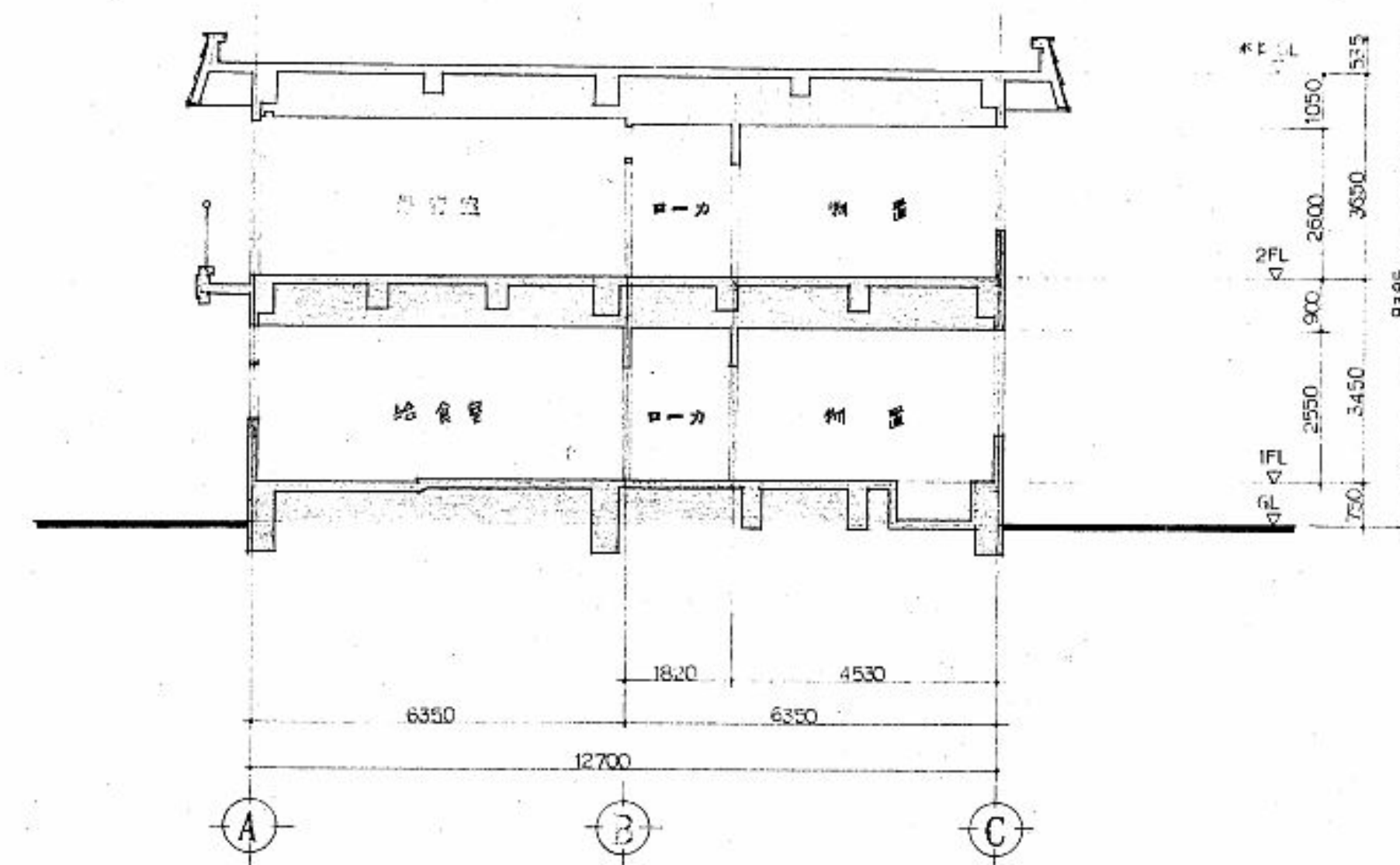
左側



断面図 S-1/100

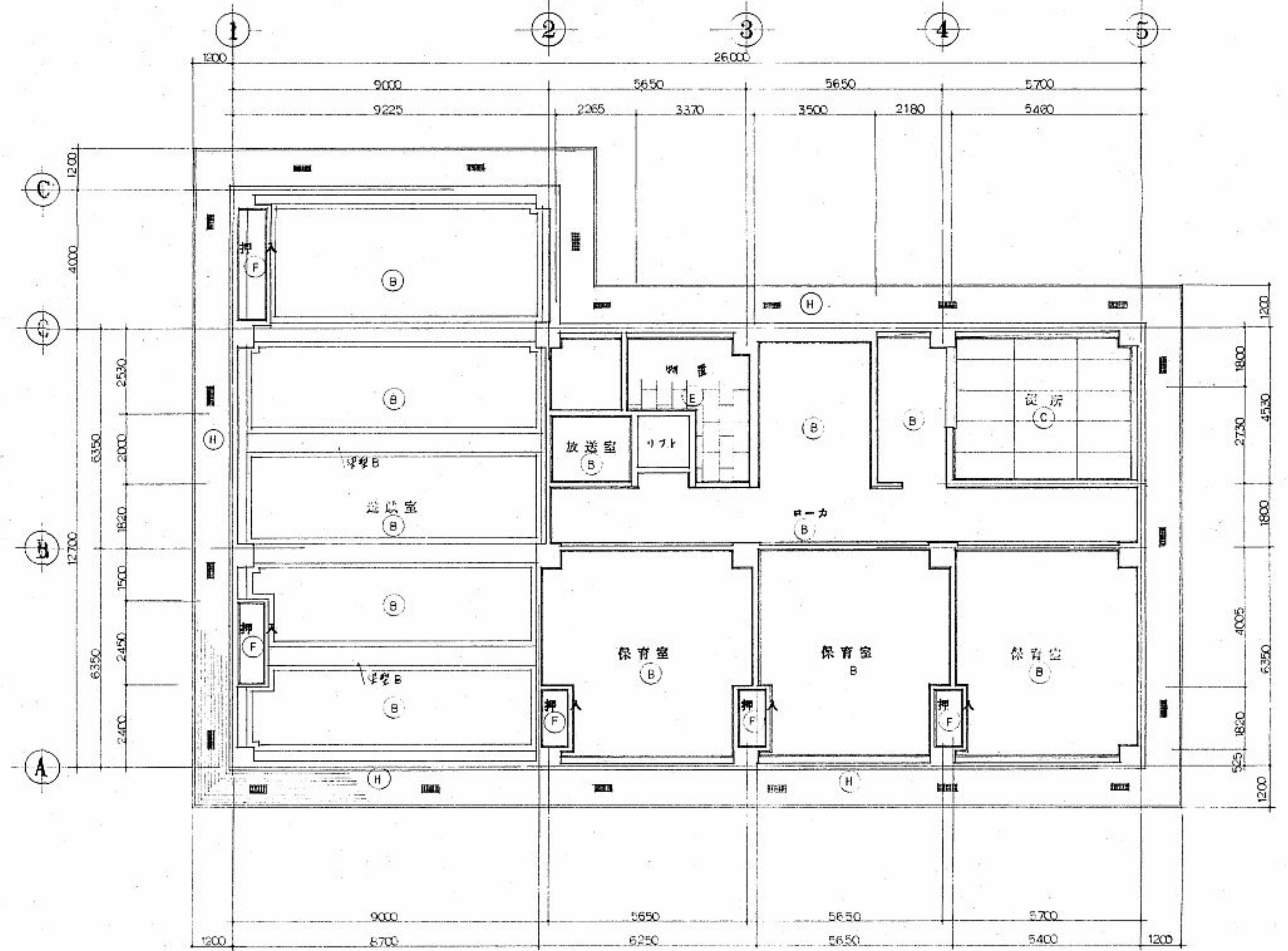
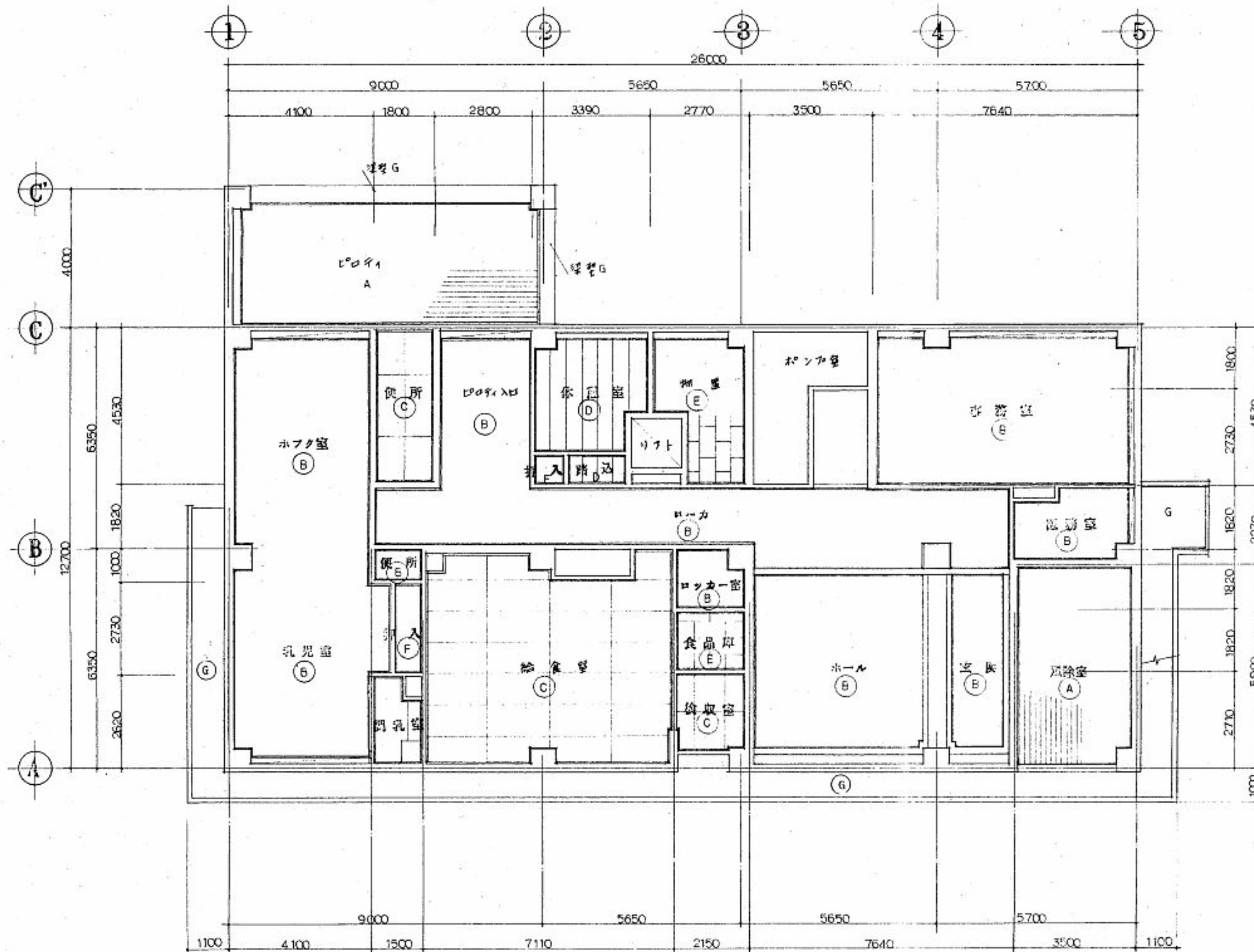




断面図 S-2/100

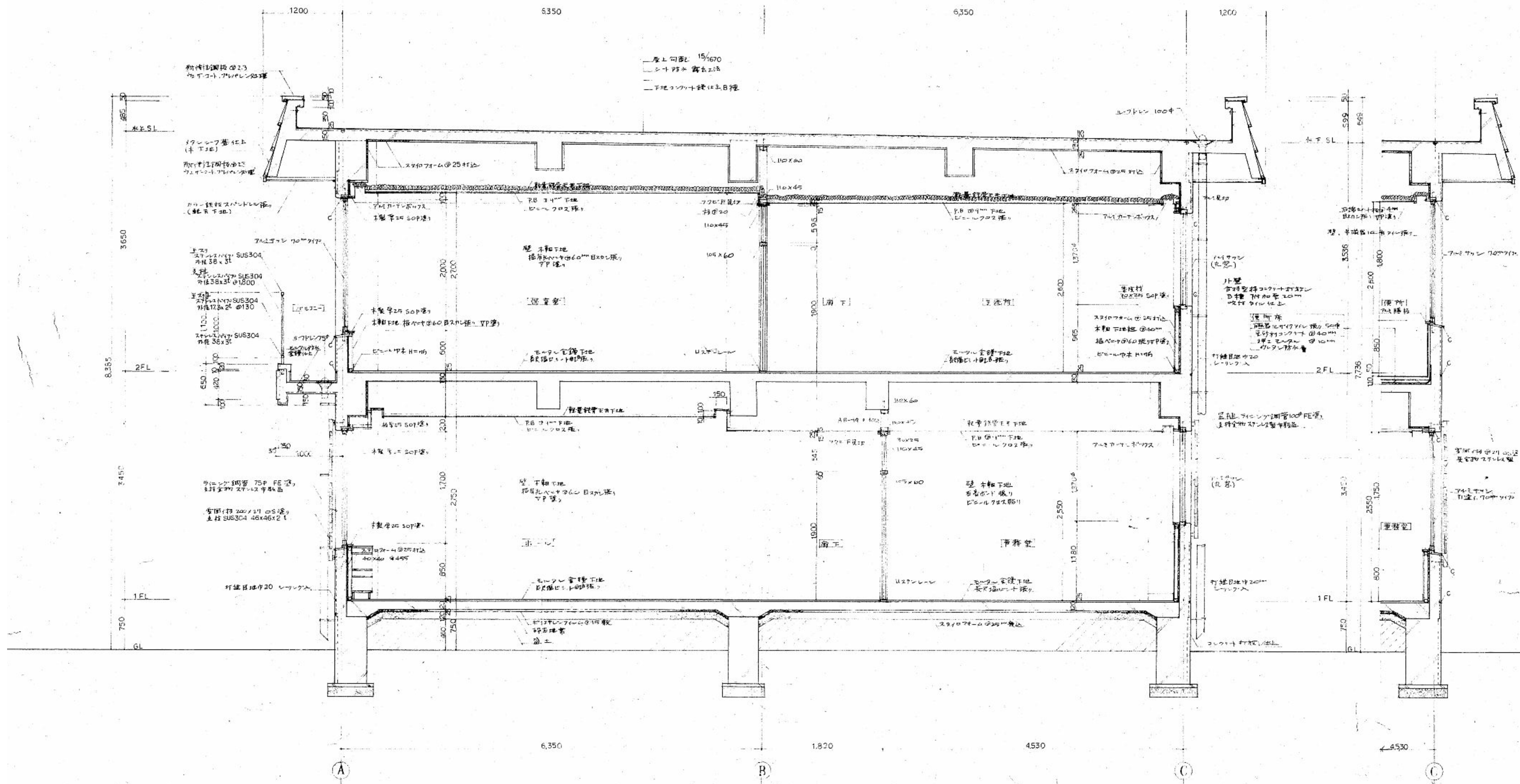



断面図 S-3/100

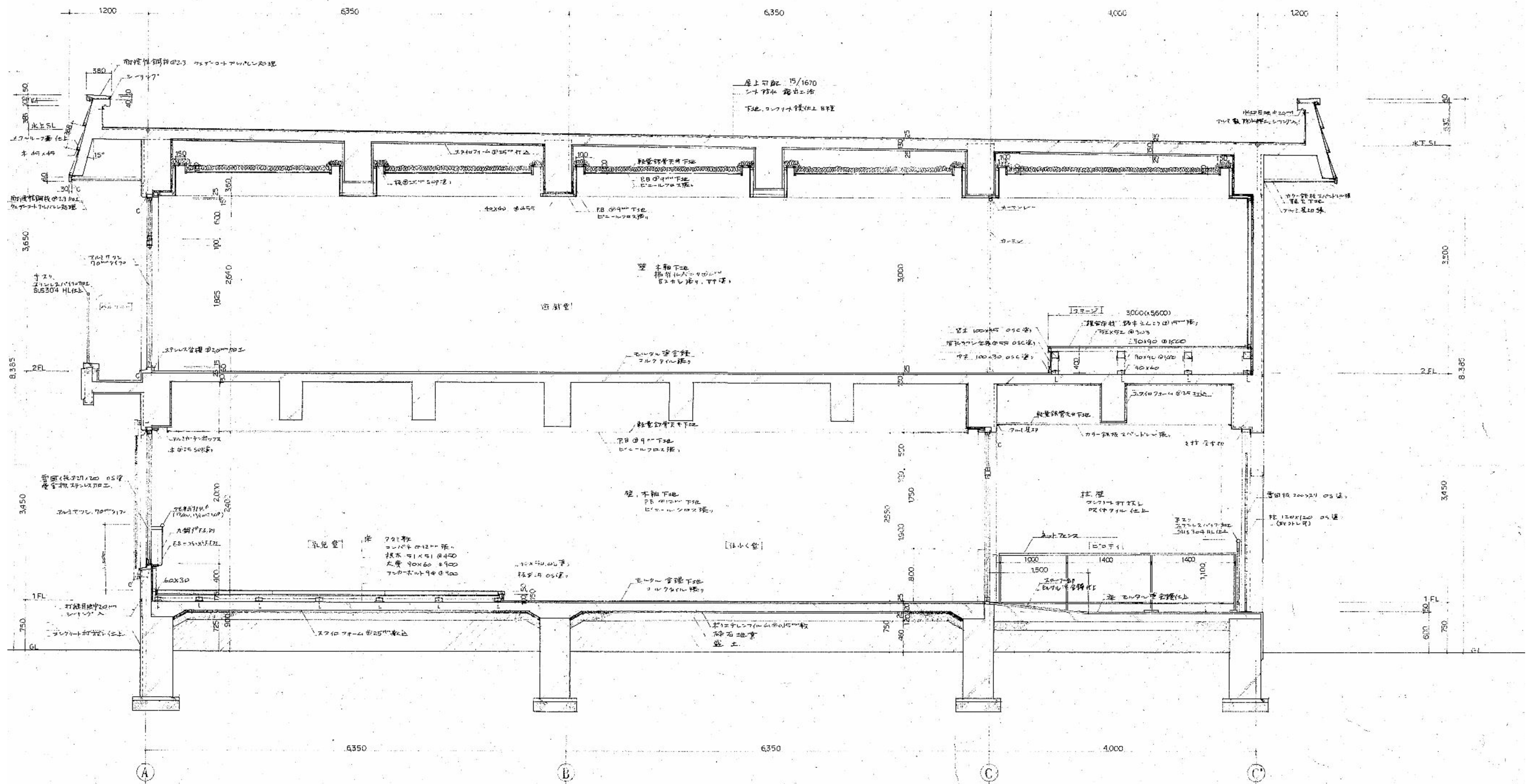
<p>備考</p>	<p>有限会社 サクライ 設計</p> <p>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</p> <p>一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990</p> <p>一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人</p>	<p>設計者等氏名</p> <p>五十嵐 正充</p> <p>建築士登録番号等</p> <p>一級建築士 第129518号</p>	<p>工事名称</p> <p>5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事</p> <p>図面名称</p> <p>断面図</p>	<p>年月</p> <p>2023.10</p> <p>縮尺</p> <p>1/100</p>	<p>図面番号</p> <p>A-11</p> <p>電機</p> <p>構機</p>
-----------	--	---	--	---	---

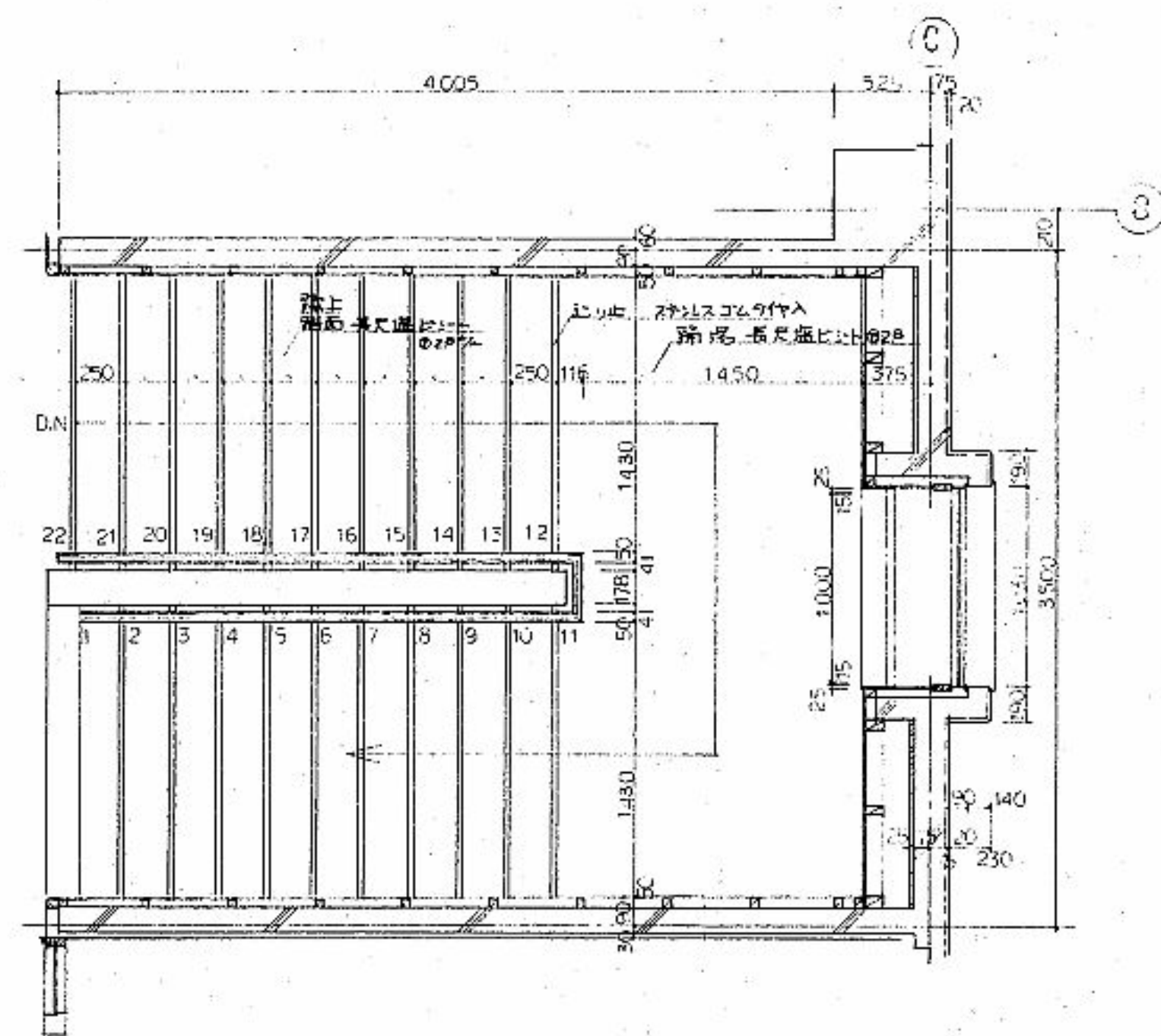


仕上表	
記号	仕様・材料
(A)	塩ビ鋼板 ステンデル ①00張
(B)	石膏ボード ⑨9張 ビール782貼
(C)	石綿セメント板 ④40目メッシュ V.P塗
(D)	鉛筆 ⑧8目メッシュ張
(E)	トリアーシン板 石膏ボード ⑨9張
(F)	押入ボード張
(G)	3mm厚板 シンチ ⑦7mm厚層連続改修
(H)	鋼-鉄板 ステンデル ②20張
	鉛ミカシンBOX
	軒外開口 x 7mm厚 196 x 424
	外側壁部 ⑥6mm厚 塩ビシート ⑤50 x ③300内付

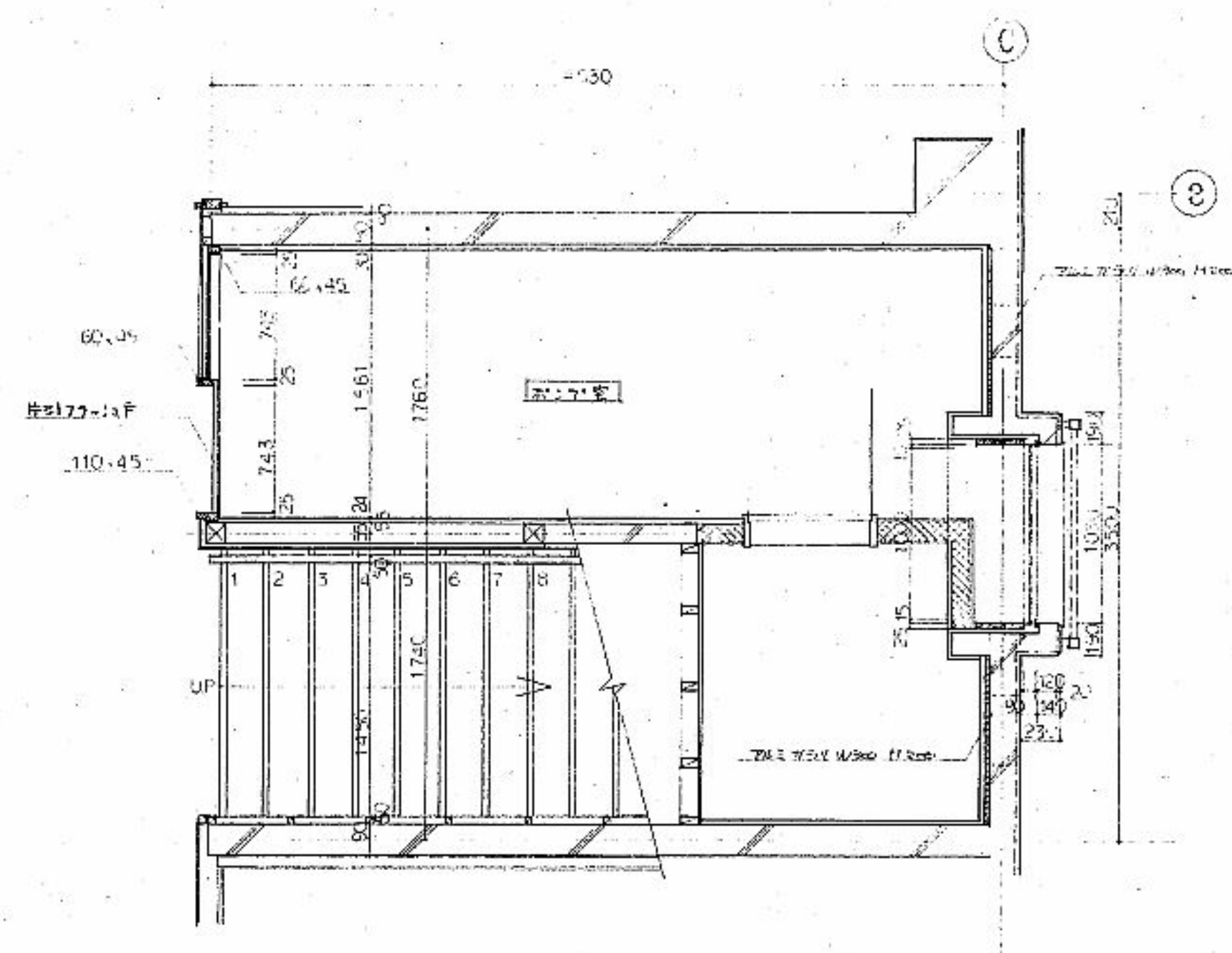


備考					 有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守 人	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年 月 2023. 10	図面番号 A - 1 3
						五十嵐 正 光	一級建築士 第129518号			
電	機									

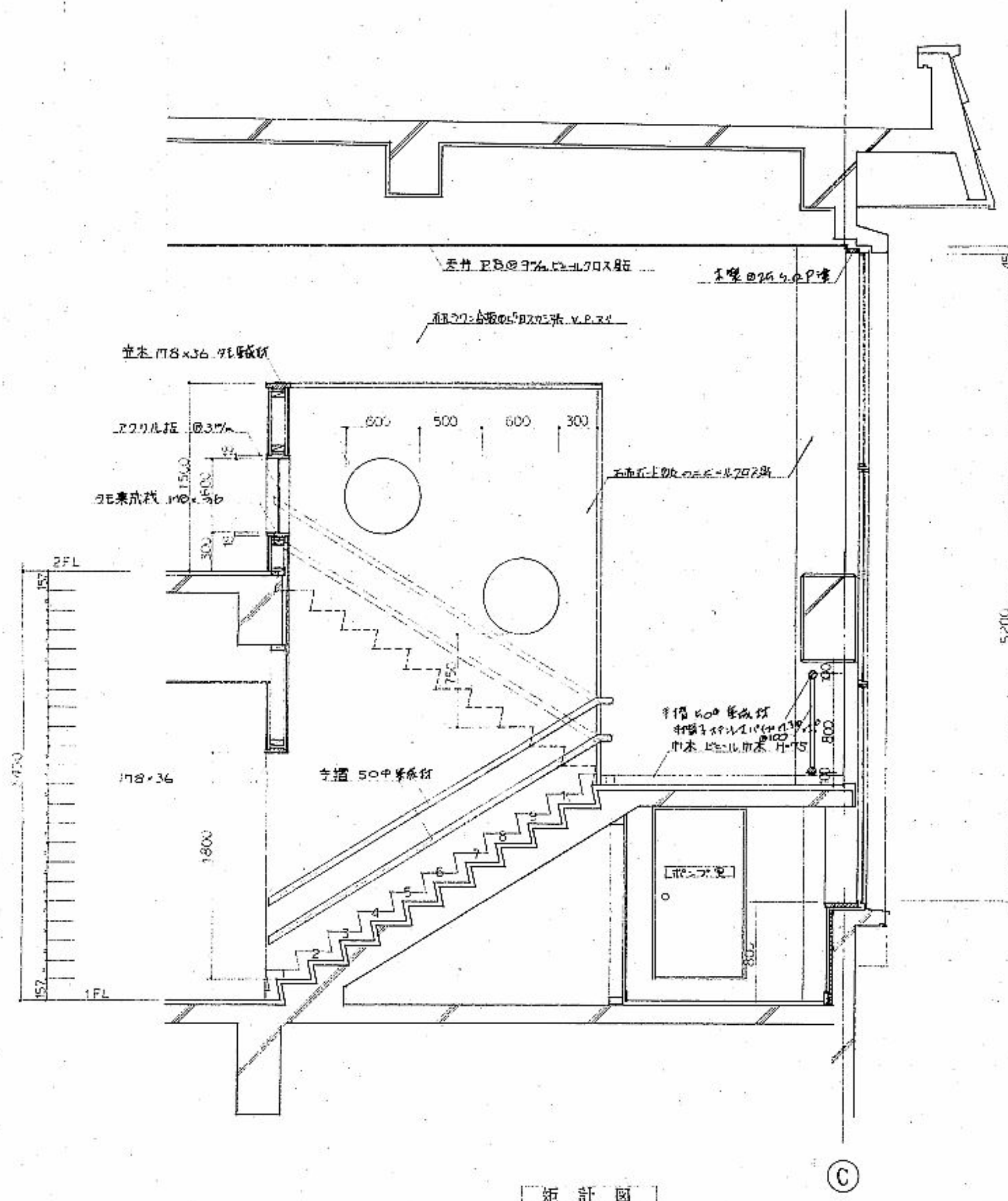




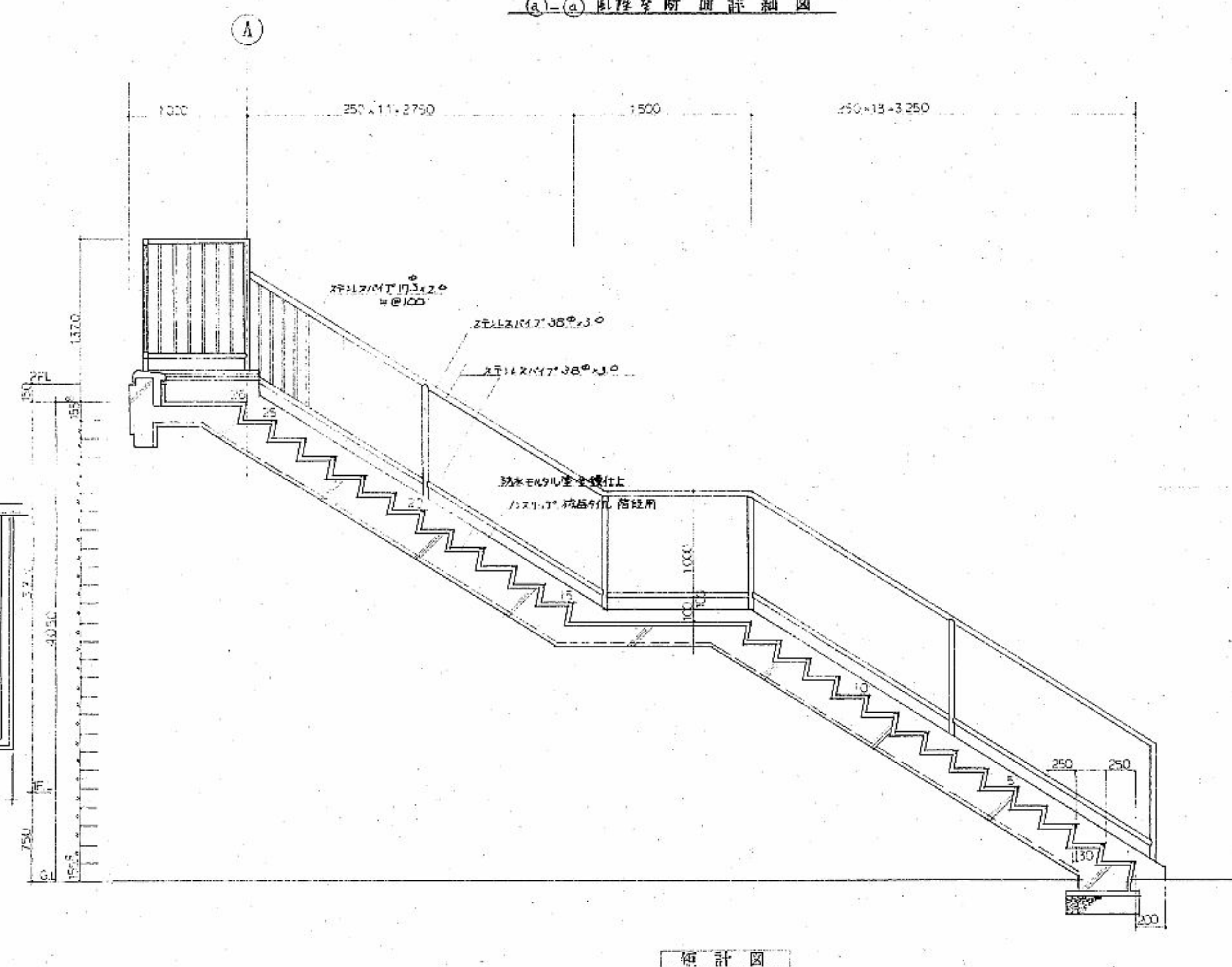
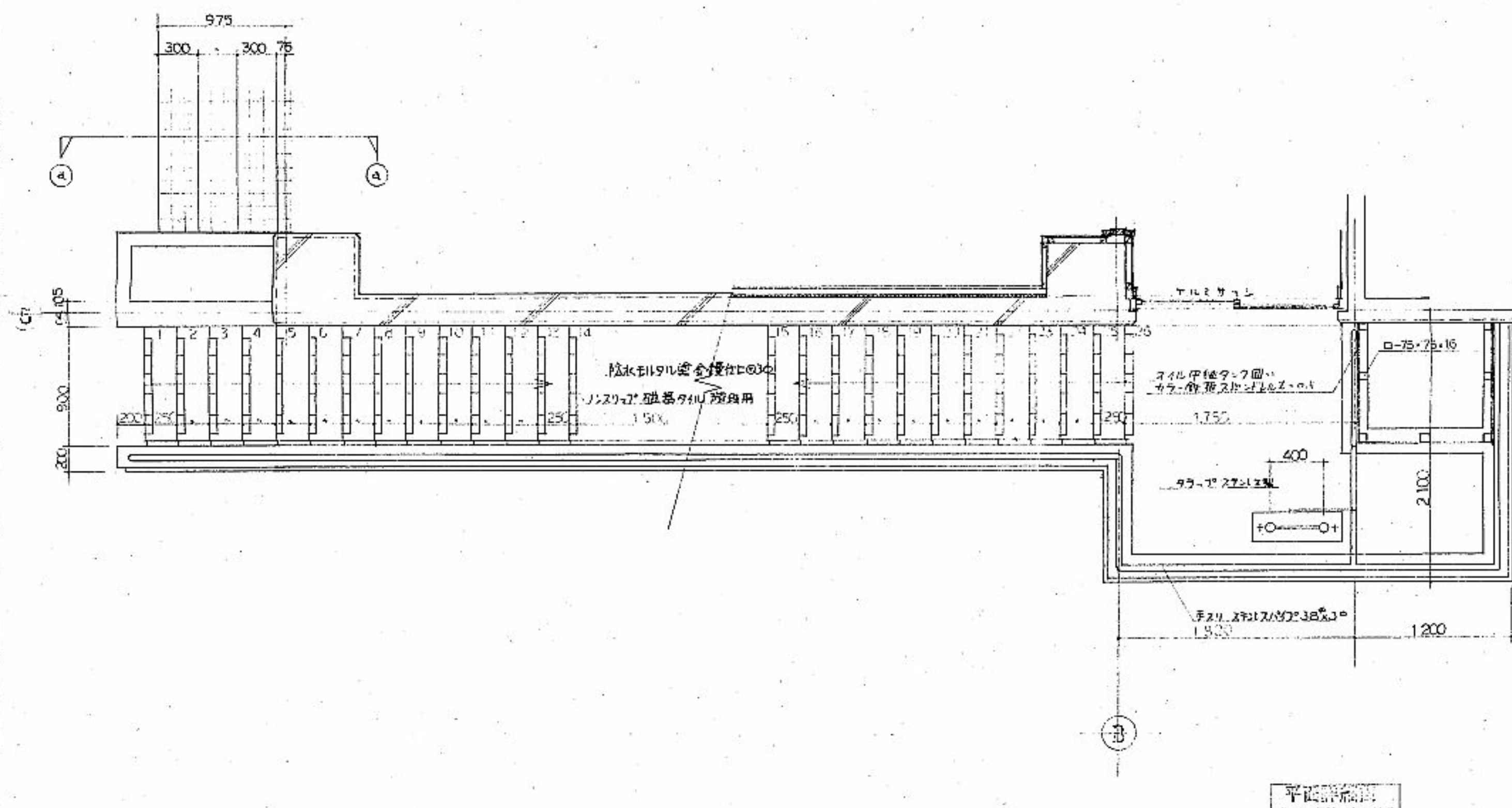
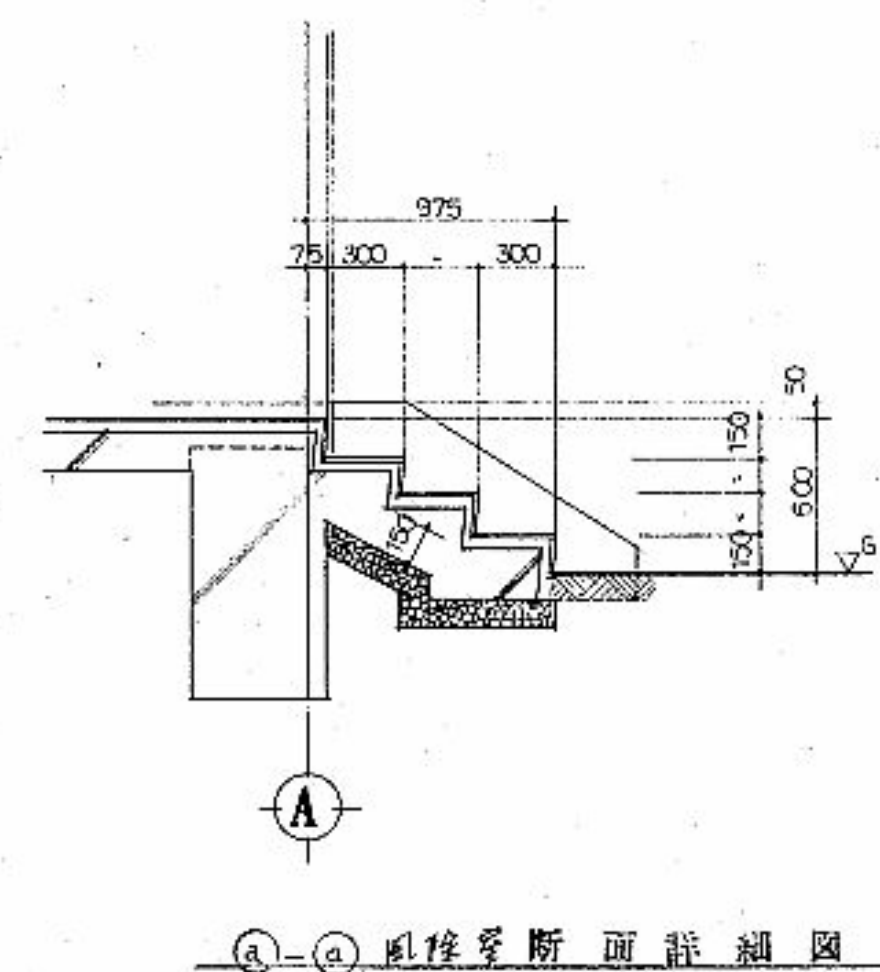
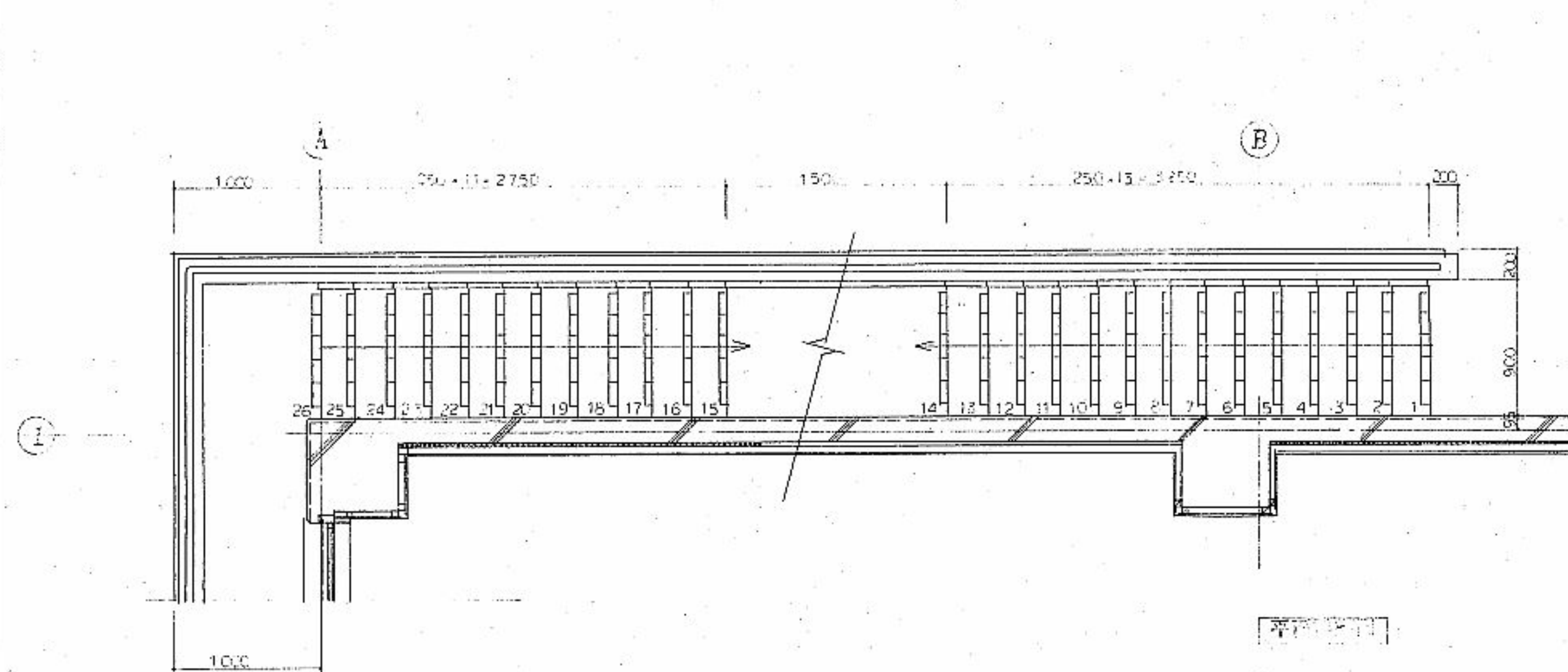
2階階段平面詳細図



1階階段平面詳細図



階段詳細図



備考		有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 五十嵐 正充 建築士登録番号等 一級建築士 第129518号	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事 図面名称 屋外階段詳細図	年月 2023.10 縮尺 1/30	図面番号 A-16 電機 構機
----	--	---	--	---	-----------------------------	--------------------------